

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	情報リテラシーⅡ（DB）		TDB104
講義名（コード）	情報リテラシーⅡ（DB）		TDB104
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	デジタル・ビジネスコース	単位数	2
授業担当者	鈴木祥夫	時間数	30
成績評価教員	鈴木祥夫	講義期間	秋学期
実務者教員	はい	履修区分	選択必修
実務者教員特記欄	本授業は関連業界で職業経験ある講師にて実施される。		授業形態
			講義

2. 本授業科目の概要

目的（位置づけ）	Pythonによるプログラミング演習を通し、プログラムとはどのようなものか実体験として理解する。
到達目標	初級者：Pythonを使いコーディングできるようになる。 中級者：プログラミングコンテストの中級レベルの課題にチャレンジできるようになる。
全体の内容と概要	初級者：四則演算,条件分岐,繰り返し,型の理解の復習,関数,入出力を理解し、コーディングできるようになる。 中級者：Pythonの教科書全部理解し(クラスを除く)、コーディングできるようになる。
授業時間外の学修	初級者：授業中に練習した演習課題の提出 中級者：授業中に練習した演習課題の提出およびプログラムコンテストへの参加
履修上の注意事項	Web上の開発環境Google colabory使用して授業を進めていきますので、Webが使用できる環境を準備してください。Windows PCまたはMac PCを用意してください。
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	講師	授業内容
---	----	------

1	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	1.【初級者】if,for文,while文を含めた総合演習① 1.【中級者】プログラミングコンテスト演習①
2	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	2.【初級者】if,for文,while文を含めた総合演習② 2.【中級者】プログラミングコンテスト演習②
3	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	3.【初級者】入出力：STEP25 3.【中級者】入出力：STEP25 + 例外：STEP26
4	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	4.関数①,②,③：STEP17,18,19
5	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	5.関数①,②,③：STEP17,18,20の演習
6	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	6.組み込み型 タプル, 辞書, 集合, まとめ：STEP8, 9, 10,10
7	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	7.組み込み型 タプル, 辞書, 集合, まとめ：STEP8, 9, 10,11の演習
8	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	8.モジュール, パッケージ：STEP23, 24
9	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	学生の理解度に応じて授業の進度と内容を調整します。(調整予定)
10	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	学生の理解度に応じて授業の進度と内容を調整します。(調整予定)
11	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	学生の理解度に応じて授業の進度と内容を調整します。(調整予定)
12	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	学生の理解度に応じて授業の進度と内容を調整します。(調整予定)
13	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	学生の理解度に応じて授業の進度と内容を調整します。(調整予定)
14	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	試験
15	プログラミング専門講師 鈴木 祥夫	試験解説

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	Python[基礎編] ワークブック
参考文献・資料等	Pythonゼロから始めるプログラミング(パワーポイント)
備考	